

エイジフレンドリーな環境づくり: コア指標、ハンドブック、ツール



**World Health
Organization**

Centre for Health Development

AFC指標セットを選択する際のフレームワーク

インプット

リソースや組織体制など、AFCの実現および促進にとって鍵となる要因

- ハイレベルな政治的コミットメント
- 複数の関係者による協働体制
- 高齢者とのオーナーシップ(当事者意識)の共有
- 財政的、人的リソース

社会
公平性

アウトプット

AFCをつくるための介入策

物理環境面:

- 都市計画、土地利用
- 公共スペースや建物のデザイン
- 住宅のデザインや価格帯
- 交通機関のデザイン

社会環境面:

- 文化・レクリエーションプログラム
- 情報コミュニケーション、アドボカシー(擁護活動)
- 保健、医療、社会、福祉サービス
- 雇用やビジネスの機会

社会
公平性

アウトカム

AFCづくりにおける短期的および中期的成果

物理環境面:

- 地域における歩行および(交通機関を使わない)移動のしやすさ(バリアフリー化など)
- 公共のスペース、建物、交通機関のアクセシビリティ
- (高齢者に適した)住宅の値ごろさ
- 安全性

社会環境面:

- 高齢者のボランティア参加率
- 地域における意思(政策)決定への参加率
- 高齢者の経済的安定
- 加齢および高齢者に対する肯定的・好意的な社会的態度や姿勢
- 高齢者に有用な情報やサービスのアクセシビリティ

社会
公平性

インパクト

AFCの環境を整備することによる長期的成果

- 高齢者および住民すべての健康と福祉

AFC コア指標の分類

公平性(Equity) 指標

母集団と最も望ましい値を示す下位群の平均値の差
(例:高齢者におけるボランティア参加率の全体平均値と、同年代の女性高齢者におけるボランティア参加率の平均値との差。ボランティア参加率の高い地域と全体平均との差。)

二つの下位群の平均値の差
(例:性別、地域別、所得別比較)

AFCの環境指標

物理環境のアクセシビリティに関する指標

- 地域における歩行および(交通機関を使わない)移動のしやすさ(バリアフリー化)
- 公共のスペースや建物のアクセシビリティ
- 公共の交通機関の車両のアクセシビリティ
- 公共の交通機関の停留所・駅のアクセシビリティ
- (高齢者に適した)住宅の値ごろさ

社会環境の包摂性(インクルーシブ)指標

- 高齢者に対する肯定的・好意的な社会的態度や姿勢
- ボランティア参加率
- 雇用率
- 社会・文化活動参加率
- 地域における意思(政策)決定への参加率(投票率や各種行政委員会への高齢者参加率など)
- 高齢者に有用な情報の提供
- 高齢者に有用な保健、医療、社会、福祉サービスの提供
- 高齢者の経済的安定

高齢者福祉へのインパクト

生活の質(QOL)

政策行動のための8つの領域

領域1: 屋外環境

- 目標: 高齢者の多様性を認識しつつ、そのニーズを考慮し、また高齢者と協議しながら、建造環境や公共スペースを計画し、設計する。
- 活動領域
 - 障害のある人々が容易にアクセスし利用できるバリアフリーの公共スペースと建物
 - コミュニティの交流と個人の自立を支援する
 - 屋外で滞在できる場所(ベンチ、トイレなど)
 - 帰属意識、連続性の知覚、自己意識をサポートする都市環境

領域2：交通機関と移動

- 目標：アクティブな生活のための、安全で利用しやすく適切で信頼性の高い交通サービスとインフラを促進する。
- 活動領域
 - 移動しやすさと歩きやすさを高めるインフラ
 - 公共交通機関の整備
 - 移動しやすさを改善するための、特別なオンデマンドサービスとその他のサポート

領域3：住居

- 目標：適切で利用しやすく、安全で、手頃な価格の住居を提供する。
- 活動領域
 - 住居の改善により格差を是正
 - 住宅の査定・修理・メンテナンス・改修を支援
 - 新築住宅に関する基準の策定と施行
 - 自立を支える住居のより多様なオプションを創出
 - 住み替え支援
 - 防犯を含めた、治安と安全

領域4：社会参加

- 目標：高齢者の社会生活への参加を促進し、孤立や疎外を防ぐ。
- 活動領域
 - 高齢者が利用しやすい多様な社会参加の機会
 - 社会交流の場となり、コミュニティでの社会的接触の機会を提供するような支援環境
 - 複数のレベルからの介入
 - 生涯学習の支援
 - 多部門連携

領域5：インクルージョン（社会包摂）と差別撤廃

- 目標：年齢や性別、社会的地位、健康状態、障害の有無に関係なく、全ての人々が尊重され、参加し、貢献できるような、人を社会的に疎外しないインクルーシブな環境を作る。
- 活動領域
 - 尊重と、差別の撤廃
 - 社会的疎外への対策
 - 弱い立場にある人に対象を絞った活動
 - ソーシャルキャピタルと近隣地域の連帯
 - 世代をまたがるスペースと活動の創出

領域6：市民の関与と雇用

- 目標：高齢者が政治、経済、市民活動に参加するより良い機会を増やすことによって、高齢化社会が持つ可能性をより有効に活用する。
- 活動領域
 - 政治と意思決定への参加
 - 経済と雇用
 - 市民活動への参加：共創とボランティア

領域7: コミュニケーションと情報

- 目標: 自分に関係のある、信頼できる情報を、高齢者が適切なタイミングで理解できる形で得られるよう支援する。
- 活動領域
 - エイジフレンドリーな情報の提供
 - 健康や高齢者に関する情報が得られる情報センターの設置
 - 健康リテラシーの向上
 - イベントの開催
 - 情報格差への取り組み

領域8：コミュニティと保健サービス

- 目標：適切に配置され、容易に利用できる、広範囲にわたる保健医療サービスとコミュニティサービスの高齢者への提供を促進する。
- 活動領域
 - 総合的なケアを連携して提供するためのコミュニティ活動
 - 健康促進や予防のサービスを含む、保健医療サービス
 - 在宅ケアと、インフォーマルケア（家族介護）への支援
 - 介護施設の充実
 - ICTを利用した高齢者支援
 - 緊急時対策と災害への備え

地域の政策決定及び政策計画 4つのステップ

ステップ1. 関与と理解

- 参加型評価を実施する。
- 優先事項
 - ワーキンググループの立ち上げ
 - 参加型評価の実施
 - ベースライン・プロフィールの作成
 - 調査結果の公表
 - 政治的コミットメントの確立

ステップ2. 計画

- 戦略文書を作成する。
- 優先事項
 - 共通のビジョンにもとづく関係者の連携
 - 強み、弱みの分析
 - 包括的な戦略の構築
 - 承認や許可の取得
 - 責任分担の明確化

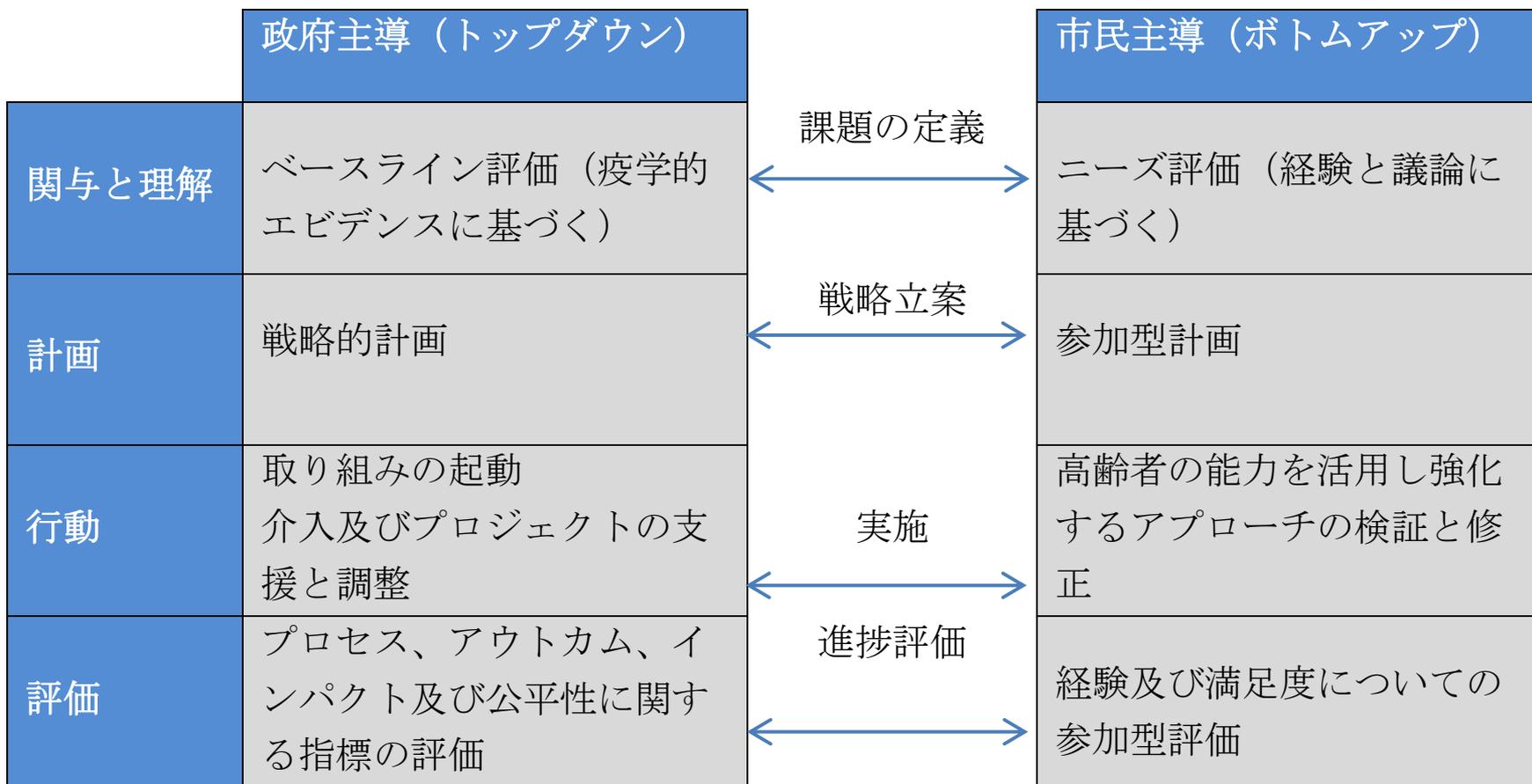
ステップ3. 行動

- 行動計画を策定し、エイジフレンドリーな活動を実施する。
- 優先事項
 - 行動計画の策定
 - 計画の協議
 - 支援及びリソースの確保
 - 行動計画の実施
 - 成功した活動の拡大

ステップ4. 測定評価

- モニタリングと評価報告を行う。
 - 初期段階に全関係者間で合意し、公式の評価計画に基づく。
- 優先事項：
 - パートナーシップの構築と拡大
 - 進捗状況のモニタリング
 - アウトカム及びインパクト評価
 - 活動の維持と継続的な改善
 - 国際的な情報共有

エイジフレンドリーな環境づくりのための の並列な道筋



出典：Laverack and Labonte (2000)

参考文献

- WHO (2015) Measuring the age-friendliness of cities: a guide to using core indicators
- WHO欧州地域事務局(2017) Age-friendly environments in Europe: a handbook of domains for policy action (欧州における高齢者に優しい環境: 政策行動のための領域についてのハンドブック)
- WHO欧州地域事務局(2016) Creating age-friendly environments in Europe: A tool for local policy-makers and planners (欧州における高齢者に優しい環境づくり: 地域の政策決定及び政策計画のためのツール)